



しおかぜ



道院長資格認定教区講習会開催

受講者は、7名ですが受講者の都合で2回に分けての開催しており、1回目を昨年12月29日(日)、塩竈道院専有道場を会

新春法会開催

1月13日(月・成人の日)に塩竈道院専有道場を会場に新春法会を開催しました。少人数ではありましたが、無事一年のスタートを切ることが出来ました。皆さん、今年一年宜しくお願い致します。



2025.1.13 新春法会で

大澤隆管長 縁起

金剛禅運動を推進する原動力に

年が明けてから早1ヶ月が過ぎ、2月になりました。

2月10日は開祖生誕の日です。開祖がこの世に生を受けたからこそ、少林寺拳法が創始され、私たちは少林寺拳法と出会うことができました。この出会いによって自分自身が変わるきっかけを得、多くの仲間がつながることができたことに感謝しつつ、開祖の志である「人づくりによる国づくり」を再確認する月としましょう。

開祖は徳のある人間に変えてゆくこと、開祖の志に賛同する人が増えることによつて、争いの無い平和で豊かな社会を実現するために少林寺拳法を創始されました。こ

場に「道院長資格認定講習会」を開催しました。その2回目は、1月5日(土)に2名参加

で佐藤淳一副教区长・仙台西道院長そして宮城県教区长である私が担当し開催しました。

この講習会は、前月号でも記載しましたが、新たに道院長になるための講習会で、まず、所属の県教区での講習を受講後に、本山での講習を受講し道院長資格を付与されるものです。今後の活動が楽しみです。

の教えを深く学び、実践することで、私たち自身が社会を明るくする、金剛禅運動の原動力となっていきたいと思います。

私たちの修行は格闘技や護身術の枠を超え、心と体を育み、自信や勇氣、人を思いやる気持ちや他者と協力して事をなす行動力を養ってくれます。これは老若男女問わず、誰もが取り組めるものであり、道院では世代を超えた多くの仲間が共に学び合い、成長することができます。そこで得られた学びや気づきは、社会での行動や人間関係を豊かにし、自分自身が社会を明るくす

2025.1.5 道院長資格認定教区講習会で



今後の予定

- ◎ 2月16日(日) 9:00 ~ 12:00 特別稽古・昇格考試模擬試験(塩竈道院専有道場)
- ◎ 2月23日(日) 宮城武専・昇格考試(青葉体育館)
- ◎ 3月 9日(日) 審判講習会(青葉体育館)
- ◎ 3月23日(日) 9:00 ~ 12:00 特別稽古・入門式(塩竈道院専有道場)

2025.1.13 新春法会で



る一助となります。
 2月、3月は新年度に向けて、少林寺拳法をやってみたいと考える人が増える時期でもあります。この機会を活かし、私たち一人ひとりが金剛禅運動の広告塔となり、共に修行する仲間を増やしていきましょう。教典を唱和するだけではなく、教えを深く学び、自らの修養を充実させる、争いの無い平和で豊かな社会を実現するために、共に金剛禅運動に邁進していきましょう。

中国古典 紹介



天を怨みず、人を咎めず 『論語』

孔子の晩年のことであるらしい。あるとき、「ああ、私を理解してくれる人はいない」と嘆いた。それを耳にした子貢という弟子が、「どうしてそんなことをおっしゃるのですか」とたずねたところ、孔子はこう答えている。「天を怨みず、人を咎めず、下学して上達す。われを知る者はそれ天か」
 訳せば、つぎのおうになるのかもしれない。「なにも天を怨むのでも、人をとがめるのでもない。私は、日常的なものから高遠なものまで、ありとあらゆるものの探求を志し

てきた。この私を理解してくれるのは、ただけであろうかと考えたまでだ」
 苦しいときや辛いときには、ややもすると自分の責任はタナに上げて、天を怨み、人をとがめたくなるのが人情の常である。だがそれをやっていたのでは、いつまでたつても進歩がないし、心の平安も得られない。そういうときこそ、孔子のことばを思い出してほしいものだ。



2025.1.13 新春法会終了後の新年会で